

令和5年全日本柔道選手権大会要項（2023.3.28修正）

新型コロナウイルスの対応策について

標記大会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、①会場に入場する選手、指導者等の選手関係者すべての入場者が健康記録表を提出すること、②出場選手は全員新型コロナウイルス検査を行うこと、をお願い致します。これらの結果に基づき参加可否を判断致します。詳細は、「令和5年全日本柔道選手権大会における新型コロナウイルス感染症対策について」をご覧ください。

全日本柔道連盟主催大会は、「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準拠し大会運営を行います。指針の最新版は、全柔連HP（<http://www.judo.or.jp/news/503/>）に掲載をしておりますので、大会に参加する皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。また、今後指針の更新に当たり、大会要項を変更する可能性があります。

大会開催に向けて準備を進めておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止になる場合がございますので予めご了承ください。

1. 期 日 令和5年4月29日（土・祝）午前9時30分開始（8時30分開場）
2. 会 場 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5100
3. 主 催 公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟
4. 後 援 朝日新聞社、NHK、公益財団法人日本武道館
5. 特別協賛 東洋水産株式会社
6. 参加選手 ①推薦選手
(1)前年度優勝者、準優勝者
(2)2022年世界柔道選手権大会優勝者
②地区選出選手
40名とし、地区別の選出数は以下のとおりとする。

北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
2	2	6	10	2	2	6	2	2	6

③欠場の取り扱い

- (1)推薦選手が欠場する場合は、これを補充しない。
- (2)地区選出選手が欠場する場合
 - ア)欠場が出た地区がこれを補充する。
 - イ)地区が補充できない場合には、開催地区（東京）がこれを補充する。
 - ウ)欠場の補充は、令和5年4月21日（金）12:00までに届出のあったものまで認める。

7. 出場資格 ①日本国籍を有し、当該年度全日本柔道連盟に登録している者。
②地区選出選手は、その地区を構成する都道府県柔道連盟（協会）を通して、前年度の全日本柔道連盟登録手続きを行っており、その地区において居住、勤務、在学の実体の伴ういずれかの条件を満たしていること。
③卒業、転勤等により、実体の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。ただし、この場合は速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。
8. 地区大会及び参加申し込み ①各地区柔道連盟（連合会・協会）は、地区大会の日時・場所等が決定次第、大会事務局（講道館）まで連絡すること。
②各地区柔道連盟（連合会・協会）は、必要事項を記入した所定の選手名簿に地区大会の記録を添付し、令和5年3月23日（木）迄に大会事務局に必着するよう提出すること。
③選手は、令和5年3月23日（木）迄に参加申込専用フォームを全柔連HPより入手しPCで作成したデータを【taikai@judo.or.jp】までメール送信すること。手書きでの提出は認めない。
9. 審判規程 ①国際柔道連盟試合審判規程および全日本選手権大会申し合わせ事項にて行う。申し合わせ事項として、スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
②試合場は、10m×10mの試合場内とし、周囲に4mの安全地帯を設ける。
③全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。（主催者は予備の柔道衣を準備しない）

令和5年全日本柔道選手権大会要項（2023.3.28修正）

また、今大会は、感染防止対策により衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で2着分用意することを推奨する。

10. 試合方法 トーナメント戦で行う。（敗者復活戦は行わない）
11. 組合せ抽選 令和5年3月28日（火）講道館において行う。
12. 選手経費 交通費および宿泊費は主催者が、規定に基づいて支給する。航空券及び特急券を含むJR乗車券等は、主催者が手配してチケットを送付する。
※交通の申し込み方法については、別紙申込書を参照のこと。
13. 審判会議 令和5年4月27日（木）18:00～19:00 web会議にて行う。
14. 表彰 優勝者、2位、3位（2名）、5位（4名）を表彰する。
15. ドーピング検査 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
16. その他
 - ①皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - ②脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。（受傷した時点で必ず専門医を受診すること）
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
 - ③個人情報、肖像権の取り扱いについて
 - ・参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。
 - ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
 - ・大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
 - ・提出された個人情報については、上記及び下記④の利用目的以外に利用しない。
 - ・参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記に関する承諾を得たものとして対応する。
 - ④健康記録表兼同意書の提出・新型コロナウイルス感染症検査について
今大会では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、
 - (1) 会場に入場する選手、指導者等の選手関係者すべての入場者が健康記録表兼同意書を提出すること
 - ~~(2) 会場に入場する選手、指導者等選手に接するすべての入場者が新型コロナウイルス検査陰性を確認の上入場すること（詳細は別途案内する）~~上記(1) ~~(2)~~に基づき、参加可否を判断する。上記(1) ~~(2)~~にご協力いただけない方は本大会に参加できないものとする。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがある。
※補欠選手についても、繰上出場の際に上記文書の提出が必須となるため、4月22日（土）より健康記録を開始し、十分に感染予防対策を施して練習すること。
 - ⑤大会事務局
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30
公益財団法人講道館 総務部
電話 03-3811-7152/FAX 03-3811-7151/E-mail soumu@kodokan.org

令和5年全日本柔道選手権大会要項（2023.3.28修正）

【大会日程】

期日	時間	内容	場所
4月27日(木)	18:00～19:00	審判会議	Web会議
4月29日(土・祝)	08:00～	選手開場 選手受付 (ID・交通費支給)	日本武道館
	08:30～	観客入場	
	09:30～	開会式	
	17:30～	閉会式	